

平成29年4月入学・進学

大学院創成科学研究科

博士後期課程

(第3回)

学生募集要項

学生進学要項

山 口 大 学

山口大学大学院研究科のアドミッション・ポリシー

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念に、地域の基幹総合大学及び世界に開かれた教育研究機関として、たゆまぬ研究及び社会活動並びにそれらの成果に立脚した教育を実践し、地域に生き、世界に羽ばたく人材の育成に努めます。

そのために、次のような学生の入学を求めています。

●求める学生像

- 高度な理論的・実践的研究に意欲をもつ人
- 研究成果を実践の場で応用・展開できる人
- 豊かな人間性と高度な倫理性、社会性を備えた人

創成科学研究科博士後期課程のアドミッションポリシー

○自然科学系専攻

(求める人材像)

本専攻は、数理科学、物理学、情報科学、化学、地球科学の先端分野および先端技術に関する高度な学修並びに研究を通して総合的研究能力を備えた、自立した研究者または高度技術者を養成することを目的としています。このため、本専攻では以下に述べるような学生を求めています。

- 1 大学院修士課程に相当する専門的知識や経験をもとに、自然科学の基礎的な分野並びに関連する幅広い分野で、問題を発掘し、創造しようとする意欲のある人
- 2 自然科学の研究を自然と人類の共生という視点で眺め、新たな問題を解決する方法と道筋を開拓し、自立した研究者または技術者となることを目指す人

○システム・デザイン工学系専攻

(求める人材像)

本専攻は、グローバルに活躍する技術者に必須の高い倫理観と、知的財産に関する知識を有し、機械工学、電子システム工学、電力システム工学、知能情報メディア工学、情報システム工学における自らの専門分野に関する高い問題発見および解決能力を有するばかりでなく、専門周辺分野に関しても幅広い知見を有し、長期的な展望をもってプロジェクト全体を牽引してイノベーション創出を遂行する能力を有する人材を育成することを目的としています。このため、本専攻では以下に述べるような学生を求めています。

- 1 機械工学、電子システム工学、電力システム工学、知能情報メディア工学、情報システム工学のいずれかの分野において高度な専門能力を有する技術者・研究者を目指す人
- 2 自ら研究課題を発見・設定し、自主的に問題解決に取り組める人
- 3 革新的な技術開発や独創性の高い研究成果、また、実際に役立つ研究成果に基づき、国際社会や地域社会の発展に貢献できる技術者・研究者を目指す人
- 4 研究を通じて国際連携や産学連携などを経験し、当該分野においてリーダーシップを発揮できる技術者・研究者を目指す人

○環境共生系専攻

(求める人材像)

本専攻は、安全・安心で低炭素な持続可能社会を実現するために環境調和型の科学技術体系を俯瞰でき、先進的な課題を通してグリーンイノベーションに貢献できる人材、ならびに、人間活動と自然環境とが共生した循環型社会実現のために、都市、地域、家庭や個人を基礎単位とした安全で快適な生活空間および社会基盤を築きあげる総合的な技術分野を俯瞰でき国際社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このため、本専攻では以下に述べるような学生を求めています。

- 1 機械工学，社会建設工学，建築学，環境系のいずれかの分野において高度な専門能力を有する技術者・研究者を目指す人
- 2 自ら研究課題を発見・設定し，自主的に問題解決に取り組める人
- 3 革新的な技術開発や独創性の高い研究成果，また，実際に役立つ研究成果に基づき，国際社会や地域社会の発展に貢献できる技術者・研究者を目指す人
- 4 環境系の科学者・技術者・研究者に求められる社会的責任に関する意識を持ち，グローバルな環境問題に取り組む意欲と資質のある人

○物質工学系専攻

(求める人材像)

本専攻は，進展の速い材料・デバイスの技術革新に対応でき，ナノ・テクノロジーに基づく高度な専門性，研究能力を有する人材，材料・デバイス開発に必要な一連の知識，技術を幅広く身につけ，それらを俯瞰的にマネジメントできる人材及びオープン・イノベーション時代において，グローバルな視点を持ち，英語に堪能で，自分の研究以外にも世界中の英知を利用し，タイプの異なる研究者のチームで，スピーディーに新しいものを生み出す人材を育成することを目的としています。このため，本専攻では以下に述べるような学生を求めています。

- 1 博士前期課程での量子デバイス工学，材料・エネルギー工学，応用化学の専門分野の基礎知識と英語の語学力を備え，最先端の研究に熱意と意欲をもって遂行する人
- 2 物質工学分野において，革新的な技術開発を行い，国際社会の発展に貢献する意欲のある人
- 3 工学的専門分野と同時に，工学倫理，知的財産権，技術経営，地球環境問題等にも興味をもち，広い視野をもつ研究者，技術者を目指す人

○ライフサイエンス系専攻

本専攻は，個性ある学際的教育研究を推進するため，従来の専門分野に限定されない理学，工学，農学，医学の連携のもと，医工学，分子生命科学，農学生命科学の分野における先端的な専門的知識や技術を修得し，医療・製薬・バイオ・食品関連の企業や各種研究機関で活躍できる高度専門技術を有する人材を養成することを目的とします。

(応用医工学コース)

「教育理念」「目標」

生体情報のデジタル化を基盤にして医療・福祉の新しい動向に即した理論と先端的医療機材の開発研究に必要な創造的で幅広い視野の人材を育成します。

「求める学生像」

本コースでは以下に述べるような学生を求めています。

- 1 生体情報のデジタル化を基盤にして，生命現象や病態の解析，治療法や先端的医療機材の研究・開発について学ぶために必要な基礎知識を有する人。
- 2 医学・医療の領域に対する知的好奇心が旺盛で，創造的能力の高い人。
- 3 医・工学の融合した新分野の研究者指導者となるための資質を有する人。

(応用分子生命科学コース)

「教育理念」「目標」

分子・細胞レベルの生命機能解析，バイオインフォマティクス，化学合成および先端バイオ技術に基づいた研究開発などを行うことができ，応用にも貢献できる創造的で幅広い視野をもった人材を育成します。

「求める学生像」

本コースでは以下に述べるような学生を求めています。

- 1 化学，生命科学，生物学などの分野において基盤的な知識を修得し，将来は有用分子の研究開発，化学・製薬・バイオ関連産業分野で活躍を目指す人。
- 2 微生物及び動植物などの代謝や分子機能を中心に基盤的な知識を修得し，将来は化学・製薬・バイオ関連産業分野で活躍を目指す人。

(農学生命科学コース)

「教育理念」「目標」

食料、生命、環境およびそれらの複合事象を、マイクロからマクロまでさまざまな視点で分析・評価することができ、フードサイエンス、生物生産、環境制御に関する研究開発を通じて農学生命科学における多様な問題解決に貢献しうる創造的で幅広い視野の人材を育成します。

「求める学生像」

- 1 食料、生命、環境に関する総合的かつ専門的基礎知識を有し、農学生命科学のさまざまな課題に強い関心と取り組む熱意のある人。
- 2 高度な専門的および学際的な知識と技術を意欲的に修得し、食品、バイオ、アグリビジネス、環境保全などの分野において指導的立場で活躍をめざす人。

学 生 募 集 要 項

(本学博士前期課程，修士課程及び専門職学位課程に在学中の方は
学生進学要項（8ページ～）をご覧ください。)

I 専攻及び募集人員

専攻	募集人員
自然科学系専攻	各専攻 若干名
システム・デザイン工学系専攻	
環境共生系専攻	
物質工学系専攻	
ライフサイエンス系専攻	

II 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成29年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月までに取得見込みの者
- (4) わが国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月までに取得見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月までに24歳に達する者
 (注意) 出願資格(5)及び(6)に該当する志願者は、出願に先立ち出願資格の事前審査を行いますので、6ページを参照してください。

※ 出願希望者は、出願前(なるべく早い時期)に研究指導を希望する専攻・コースの指導教員に相談してください。

III 出願手続等

1. 出願期間

平成29年2月15日(水)～2月17日(金) 《17時15分 必着》

(備考) 持参する場合は、9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出願書類等

入学志願票	本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み)に、必要事項を記入してください。
写真票 受験票	本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み)に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。
修了(見込) 証明書	出身研究科の長が作成した修士課程の修了(見込)証明書。 (出願資格(5)及び(6)に該当する者及び本学大学院理工学研究科・医学系研究科の博士前期課程修了者並びに本学大学院農学研究科の修士課程修了者は不要です。)

成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身研究科の長が作成し厳封した修士課程の成績証明書 (本学大学院理工学研究科・医学系研究科の博士前期課程並びに農学研究科の修士課程修了者は不要です。) 出身学部の長が作成し厳封した学部の成績証明書 (本学理学部・工学部及び農学部の卒業者は不要です。)
修士論文等 研究経過報告書 研究業績調書	<p>修士論文以外は、本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み)を使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 修士課程修了見込みの者は、1,000字程度で「研究経過報告書」を作成し提出してください。 修士の学位を有する者は、「修士論文のコピー」及び「修士論文の概要」(1,000字程度)を提出してください。ただし、修士論文のコピーに代えて「研究業績調書(その1)」を提出することができます。 関連した論文や学術講演、特許等がある場合には、「研究業績調書(その2)」を作成し提出するとともに、発表・公表内容を示す別刷り・コピー等を添付してください。(出願資格(5)及び(6)に該当する者は、不要です。)
研究(希望) 計画書	本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み)に、研究を希望するテーマあるいは分野について、その目的及び構想を、研究指導を希望する教員と相談の上、700字程度で記入してください。
検定料	30,000円 本学所定の払込用紙(本募集要項綴じ込み)に、必要事項を記入のうえ最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行で山口大学指定の口座に払い込んだ後、郵便局・ゆうちょ銀行から受け取った振替払込受付証明書(お客さま用)を、所定欄にはりつけてください。なお、納入された検定料は次ページの検定料を返還請求できる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
受験承諾書	原則、社会人については、勤務先の受験承諾書(本募集要項綴じ込み)を提出してください。(注)
あて名票	本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み)に、必要事項を記入してください。

(注) 社会人とは、各種の研究機関、教育機関又は企業等に正規の職員として勤務している研究者、教育者又は技術者をいいます。

(注) 本学大学院博士前期課程又は本学大学院修士課程に在籍している者がライフサイエンス系専攻(農学系)を受験する際は検定料は不要です。

※出願書類等については、本研究科入学試験において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出願方法

入学志願者は、出願書類等を取りまとめ、下記「Ⅲの4. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「速達書留」とし、封筒の表に「創成科学研究科(博士後期課程)出願書類在中」と朱書きしてください。

4. 提出先

[理学系]：自然科学系専攻，ライフサイエンス系専攻（理学系）

山口大学理学部学務係 〒 753-8512 山口市吉田1677-1 電話(083)933-5215

[工学系]：システム・デザイン工学系専攻，環境共生系専攻，物質工学系専攻，
ライフサイエンス系専攻（工学系）

山口大学工学部学務課入試係 〒 755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1 電話(0836)85-9009

[農学系]：ライフサイエンス系専攻（農学系）

山口大学農学部学務係 〒 753-8515 山口市吉田1677-1 電話(083)933-5811

5. 検定料の返還について

ア 次に該当した場合は納入済の検定料を返還します。

- ① 検定料を納入済であるが山口大学に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

イ 返還請求の方法

上記①又は②に該当した場合は，下記の連絡先に連絡してください。連絡があった後に「検定料払戻請求書」を送付しますので，必要事項を記入のうえ郵送してください。

また，上記③の場合は，出願書類返却の際に「検定料払戻請求書」を同封しますので，必要事項を記入のうえ，下記の連絡先へ郵送してください。

連絡先	〒753-8511 山口市吉田1677-1 国立大学法人 山口大学財務部財務課 電話 (083) 933-5098
-----	--

IV 選抜方法

入学者の選抜は，口頭試問及び出願書類を総合して判定します。

1. 口頭試問

(1) 修士課程修了者又は修了見込みの者に対する口頭試問は，研究指導を志望する専攻・コースに関連した学力，修士論文又は研究経過報告書及び研究計画等について行います。

(2) 社会人に対する口頭試問は，修士論文又は研究業績調書及び研究計画等について行います。

2. 選抜期日

平成29年3月1日（水）～3月7日（火）の期間内に志願者と調整のうえ決定します。

V 試験場

学系	専攻名等	試験場	試験場住所
理	自然科学系専攻 ライフサイエンス系専攻（理学系）	山口大学理学部	山口市吉田1677-1
工	物質工学系専攻 システム・デザイン工学系専攻 環境共生系専攻 ライフサイエンス系専攻（工学系）	山口大学工学部	宇部市常盤台2丁目16-1
農	ライフサイエンス系専攻（農学系）	山口大学農学部	山口市吉田1677-1

裏表紙の案内図を参照してください。

VI 合格発表

平成29年3月23日（木）正午（予定）

本研究科（「自然科学系専攻、ライフサイエンス系専攻（理学系）」は山口大学理学部1号館玄関、「システム・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻、物質工学系専攻、ライフサイエンス系専攻（工学系）」は山口大学工学部本館前掲示板、「ライフサイエンス系専攻（農学系）」は山口大学農学部玄関）に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。

なお、電話による照会には一切応じません。

VII 入学手続

学系・専攻別に以下の所定の場所において、次の入学手続期間内に入学手続きを完了してください。

1. 入学手続期間及び入学手続場所

学系	専攻名等	入学手続場所	入学手続期間
理	自然科学系専攻 ライフサイエンス系専攻（理学系）	山口大学理学部	平成29年3月27日（月） ～3月29日（水）《17時15分まで》
工	物質工学系専攻 システム・デザイン工学系専攻 環境共生系専攻 ライフサイエンス系専攻（工学系）	山口大学工学部	
農	ライフサイエンス系専攻（農学系）	山口大学農学部	

※入学手続き関係書類は合格通知書とともに送付します。

持参する場合は、平日9時から17時15分まで受け付けます。

2. 入学時に要する経費

(1) 入学料及び授業料

入学料（入学手続時納付） 282,000円（予定額）

授業料（入学後納付） 前期分 267,900円（予定額）

後期分 267,900円（予定額）

- (注) 1. 本募集要項公表後、平成29年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改訂後の額となります。また、既に納入されていた場合は改訂額との差額を納入していただくことになります。
2. 在学中の授業料の納付は、自動払込利用申込書に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日（末日が土・日の場合は、その前の平日）に学生（または学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することになります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。
3. 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。
4. 入学手続を行った者が入学を辞退した場合、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(2) 諸経費

学生健康保険組合費 6,000円

学生教育研究災害傷害保険料 3,620円（学生教育研究賠償責任保険を含みます。）

(3) 後援会費、同窓会費

[理学系]：自然科学系専攻、ライフサイエンス系専攻（理学系）

教育後援会費 9,000円（ただし、当該教育後援会の会員であった者は、このうち入会金3,000円を免除します。）

理学部同窓会（鴻理会）費 15,000円（当該同窓会費を既に納めている者は、不要です。）

[工学系]：システム・デザイン工学系専攻，環境共生系専攻，物質工学系専攻，
ライフサイエンス系専攻（工学系）

教育後援会費 15,000円

工学部同窓会（常盤工業会）費 100,000円（終身会費）

（当該会費を既に納めている者は，不要です。）

[農学系]：ライフサイエンス系専攻（農学系）

教育後援会費 25,000円（ただし，山口大学農学部出身者については，このうち入金10,000円は免除します。）

農学部同窓会費 10,000円（ただし，山口大学農学部出身者で既に納めている者は，不要です。）

VIII その他

1. 障害等のある入学志願者で，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，対応を事前に協議しますので，希望する対応等を記載した相談書を「Ⅲの4. 提出先」へ平成29年1月27日（金）までに提出のうえ，相談してください。

[相談書に記載する内容]

①氏名，生年月日，性別 ②郵便番号，住所，電話番号 ③最終出身学校名

④志望専攻・コース名，希望指導教員氏名 ⑤障害の種類・程度 ⑥受験上希望する具体的対応

⑦修学上希望する具体的対応 ⑧最終出身学校における生活状況等（主として授業関係） ⑨その他

⑩添付書類（医師の診断書，身体障害者手帳（写）（交付を受けている者）），その他相談する際に必要と思われる参考資料

2. 入学料及び授業料の納付が困難な者に対しては，それぞれ免除する制度があります。この制度により，入学料及び授業料の免除を希望する者は，下記へ問い合わせください。

・山口大学学生支援部学生支援課学生サービス係

山口市吉田1677-1 電話 (083)933-5611

・山口大学工学部学務課学生係

宇部市常盤台2丁目16-1 電話 (0836)85-9011

IX 注意事項

1. 出願前のなるべく早い時期に，研究指導を希望する教員と研究内容，履修方法等について相談する必要がありますので，「Ⅲの4. 提出先」に問い合わせのうえ，その指示に従ってください。
2. 試験についての諸注意は，受験票とともに送付します。
3. 受験の際に，受験票を必ず携行してください。
4. 提出書類については，出願手続後，内容の変更を認めません。
5. 出願を志望する専攻等によっては，出願先及び試験場等が異なるので注意してください。
6. 入学試験に関する照会は，「Ⅲの4. 提出先」にお問い合わせください。

出願資格(5)及び(6)に関わる認定について

1. 出願資格

① 出願資格(5)について

文部科学大臣の指定した者(大学卒業後2年以上教育分野及び科学技術分野に携わり、学術論文、学術講演、特許など修士論文と同等以上に評価されると認められる研究業績を有する者で、かつ、本研究科の入学試験出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。)

なお、必要に応じ、「大学卒業後2年以上研究に従事したことを証明する書類」の提出、あるいは面接を行うことがあります。その場合は事前に通知します。

提出書類

- ・出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み))
- ・入学試験出願資格認定申請調書(本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み))
- ・最終出身学校の卒業(修了)証明書
- ・研究業績調書その1及びその2(本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み))
- ・学術論文、学術講演、学術報告、特許など具体的な活動状況を示す資料を添付してください。
- ・返信用封筒(長形3号の封筒に本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、82円切手をはったもの。)

② 出願資格(6)について

本研究科において、個別の入学試験出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの(短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者で卒業(修了)後4年以上教育分野及び科学技術分野に携わり、学術論文、学術講演、特許など修士論文と同等以上に評価されると認められる研究業績を有する者で、かつ、本研究科の入学試験出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で入学時に24歳に達したもの。)

なお、必要に応じ、「研究に従事したことを証明する書類」の提出、あるいは面接を行うことがあります。その場合は事前に通知します。

提出書類

- ・出願資格事前審査申請書(本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み))
- ・入学試験出願資格認定申請調書(本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み))
- ・最終出身学校の卒業(修了)証明書
- ・研究業績調書その1及びその2(本研究科所定の用紙(本募集要項綴じ込み))
- ・学術論文、学術講演、学術報告、特許など具体的な活動状況を示す資料を添付してください。
- ・返信用封筒(長形3号の封筒に本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、82円切手をはったもの。)

2. 事前審査受付期間及び提出先

区分	学系	事前審査受付期間	提出先	住所等
平成29年4月入学 第3回	理	平成29年1月25日(水)～1月27日(金) 《17時15分必着》	山口大学理学部	〒753-8512 山口市吉田1677-1 電話(083)933-5215
	工		山口大学工学部	〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1 電話(0836)85-9009
	農		山口大学農学部	〒753-8515 山口市吉田1677-1 電話(083)933-5811

(郵送の場合書留とし、封筒表面に「出願資格事前審査申請書在中」と朱書きしてください。)

3. 審査結果の通知

平成29年2月6日(月)までに本人宛に通知書を送付します。

4. 出願手続

事前審査により出願を認められた者は、所定の出願手続を行ってください。

大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例について

1. 趣旨

近年、科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人技術者、教育者、研究者、の再教育への要望が高まっています。しかし、通常の教育方法のみで大学教育を実施した場合、社会人は最低3年間その勤務を離れて修学する必要があるため、大学教育を受ける機会が制約されがちです。

このため、大学院設置基準第14条では、「博士課程においては、教育上特例の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人技術者、教育者、研究者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

これを踏まえ、本学大学院創成科学研究科では、大学院での履修を希望する社会人技術者、教育者、研究者に対し大学院設置基準第14条に定める特例による教育を実施します。

2. 教育方法の特例の概要

- (1) 博士後期課程の就業年限3年間の全期間に14条を適用します。
- (2) 14条の適用に係る授業の時間帯は原則として、平日の11, 12時限(17:45~19:15)および土曜日の1, 2時限(8:40~10:10)から7, 8時限(14:30~16:00)の間に行います。
- (3) 履修計画および研究(希望)計画書は、指導を希望する教員と相談の上作成してください。
- (4) 勤務の都合上、3年間で修了することが困難な場合は、あらかじめ3年間を超える履修計画をたててください。

3. 教育方法の特例を希望する者の手続

- (1) あらかじめ指導を希望する教員と協議の上、履修計画等を定め出願してください。
- (2) 出願に際しては、本募集要項「Ⅲの2. 出願書類等」に加えて、山口大学大学院(博士後期課程)教育方法の特例措置希望調書を提出してください。

學生進學要項

I 専攻及び募集人員

専攻	募集人員
自然科学系専攻	各専攻 若干名
システム・デザイン工学系専攻	
環境共生系専攻	
物質工学系専攻	
ライフサイエンス系専攻（理学系・工学系）※	

※ ライフサイエンス系専攻（農学系）の募集は行いません。

II 出願資格

本学大学院博士前期課程又は本学大学院修士課程若しくは本学大学院専門職学位課程を平成29年3月修了見込みの者

※ 出願希望者は、出願前（なるべく早い時期）に希望する教育研究分野の指導教員に相談してください。

III 出願手続等

1. 出願期間

平成29年2月15日（水）～2月17日（金） 《17時15分 必着》

（備考）持参する場合は、9時から17時15分まで受け付けます。

2. 出願書類等

進学志願票	本研究科所定の用紙（本募集要項綴じ込み）に、必要事項を記入してください。
写真票 受験票	本研究科所定の用紙（本募集要項綴じ込み）に、必要事項を記入してください。写真票の所定欄に、出願前3か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きの写真（4cm×3cm）をはってください。
修了（見込） 証明書	出身研究科の長が作成した修士課程の修了見込み証明書。 （本学大学院理工学研究科・医学系研究科の博士前期課程修了見込みの者は不要です。）
成績証明書	出身研究科の長が作成し厳封した修士課程の成績証明書 （本学大学院理工学研究科・医学系研究科の博士前期課程修了見込みの者は不要です。） 出身学部の長が作成し厳封した学部の成績証明書 （本学理学部及び工学部の卒業者は不要です。）
研究経過報告書	本研究科所定の用紙（本募集要項綴じ込み）に、1,000字程度で「研究経過報告書」を作成し提出してください。なお、関連した論文や学術講演、特許等がある場合には、「研究業績調書（その2）」を作成し提出するとともに、発表・公表内容を示す別刷・コピー等を添付してください。
研究（希望） 計画書	本研究科所定の用紙（本募集要項綴じ込み）に、研究を希望するテーマあるいは分野について、その目的及び構想を、研究指導を希望する教員と相談の上、700字程度で記入してください。
あて名票	本研究科所定の用紙（本募集要項綴じ込み）に、必要事項を記入してください。

※本学博士前期課程、修士課程及び専門職学位課程に在学中の方は、検定料は、不要です。

※出願書類等については、本研究科進学試験において必要なためご提出いただくものであり、これによって得た個人情報を、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

3. 出 願 方 法

進学志願者は、出願書類等を取りまとめ、「Ⅲの4. 提出先」へ提出してください。

出願書類を郵送する場合は、「速達書留」とし、封筒の表に「博士後期課程出願書類在中」と朱書きしてください。

4. 提 出 先

「自然科学系専攻、ライフサイエンス系専攻（理学系）」

山口大学理学部学務係

〒 753-8512 山口市吉田1677-1 電話(083)933-5215

「システム・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻、物質工学系専攻、ライフサイエンス系専攻（工学系）」

山口大学工学部学務課入試係

〒 755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1 電話(0836)85-9009

IV 選 抜 方 法

進学者の選抜は、口頭試問及び出願書類を総合して判定します。

1. 口頭試問

研究指導を志望する専攻・コースに関連した学力、研究経過報告書及び研究計画等について行います。

2. 選 抜 期 日

平成29年3月1日（水）～3月7日（火）の期間内に志願者と調整のうえ決定します。

V 試 験 場

「自然科学系専攻、ライフサイエンス系専攻（理学系）」

山口大学理学部 山口市吉田1677-1

「システム・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻、物質工学系専攻、ライフサイエンス系専攻（工学系）」

山口大学工学部 宇部市常盤台2丁目16-1

裏表紙の案内図を参照してください。

VI 合 格 発 表

平成29年3月23日（木）正午（予定）

本研究科（「自然科学系専攻、ライフサイエンス系専攻（理学系）」は山口大学理学部1号館玄関、「システム・デザイン工学系専攻、環境共生系専攻、物質工学系専攻、ライフサイエンス系専攻（工学系）」は山口大学工学部本館前掲示板）に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書を郵送します。

なお、電話による照会には一切応じません。

Ⅷ そ の 他

1. 障害等のある進学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する場合、対応を事前に協議しますので、希望する対応等を記載した相談書を「Ⅲの4. 提出先」へ平成29年1月27日（金）までに提出のうえ、相談してください。

(1) 相談書に記載する内容

- ①氏名、生年月日、性別 ②郵便番号、住所、電話番号 ③最終出身学校名
- ④志望専攻・コース名、希望指導教員氏名 ⑤障害の種類・程度 ⑥受験上希望する具体的対応
- ⑦修学上希望する具体的対応 ⑧最終出身学校における生活状況等（主として授業関係）
- ⑨その他
- ⑩添付書類（医師の診断書、身体障害者手帳（写）（交付を受けている者））、その他相談する際に必要と思われる参考資料

2. 授業料の納付が困難な者に対しては、授業料を免除する制度があります。授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせください。

- ・山口大学学生支援部学生支援課学生サービス係
山口市吉田1677-1 電話 (083)933-5611
- ・山口大学工学部学務課学生係
宇部市常盤台2丁目16-1 電話 (0836)85-9011

Ⅸ 注 意 事 項

1. 出願前のなるべく早い時期に、研究指導を希望する教員と研究内容、履修方法等について相談してください。

「Ⅲの4. 提出先」に問い合わせのうえ、その指示に従ってください。

2. 試験についての諸注意は、受験票とともに送付します。

3. 受験の際に、受験票を必ず携行してください。

4. 提出書類については、出願手続後、内容の変更を認めません。

5. 進学試験に関する照会は、「Ⅲの4. 提出先」に問い合わせください。

なお、募集要項は、上記のいずれかの窓口で受け取るか、郵送で請求してください。

郵送の場合は、請求する封筒の表に、『創成科学研究科学生募集要項（博士後期課程）（第3回）請求』と朱書きし、住所・氏名・郵便番号を記入し、250円切手をはった返信用封筒（角型2号：A4サイズ）を同封の上、「Ⅲの4. 提出先」に請求してください。

**山口大学大学院創成科学研究科
博士後期課程案内**

(博士後期課程)

自然科学系専攻[Division of Natural Science]

コース	研究内容	教員名
数 物 情 報 系 科 学 コ ー ス	複素解析学, 特にリーマン面論	教授 増本 誠
	解析学の理論を応用した整数論的関数の漸近的挙動の研究	教授 木内 功
	フーリエ解析を応用した偏微分方程式の研究	教授 廣澤 史彦
	流体方程式の数学・数値解析	准教授 幡谷 泰史
	非結合的代数とその表現に関する研究	教授 池田 敏春
	解析関数のcovering propertiesの研究	教授 柳原 宏
	非線型偏微分方程式の数学解析	准教授 岡田 真理
	流体力学や電磁気学への数学的アプローチ	准教授 西山 高弘
	レブナー理論を中心とした、等角写像が満たす自励・非自励系微分方程式に関する研究	講師 堀田 一敬
	結び目理論の研究, 特に結び目の位相不変量に関する研究	教授 宮澤 康行
	多様体上の変分問題とその応用	教授 中内 伸光
	環論, 離散系代数及び応用	教授 菊政 勲
	環論及び加群論, 特に加群の直既約分解に関する研究	准教授 倉富 要輔
	測地線の手法を用いて, 多様体の曲率と位相の関係を調べる研究	准教授 近藤 慶
	位相幾何学, 特にリー群の構造, 及びリー群が作用する空間のトポロジーの研究	准教授 鍛冶 静雄
	可換環論, ヒルベルト函数解析の視点からの局所環論	准教授 大関 一秀
	整数環上の関数の研究	講師 南出 真
	種々の相互作用が働いている系における特徴的物理量に関する場の理論による研究	教授 白石 清
	宇宙の創生・進化と強重力天体に関する理論的研究	教授 坂井 伸之
	高分子, 有機鎖状分子, その他ソフトマテリアル系の構造形成および固体物性に関する研究、及び、溶液、ソフトマター中の分子の構造と物性および電子状態に関する研究	教授 野崎 浩二
		助教 堀川 裕加
	強誘電体・強弾性体及びその関連物質の構造と物性及び相転移に関する研究、並びに、希土類金属化合物や遷移金属化合物などの凝縮系物質の物性に関する研究	教授 朝日 孝尚
		准教授 笠野 裕修
		講師 藤原 哲也
	星形成およびブラックホールの観測的研究	教授 藤澤 健太 (時間学研究所)
	電波干渉計による高エネルギー天体現象の観測的研究	准教授 新沼 浩太郎
	脳型情報処理システムと知能信号画像解析に関する研究	教授 内野 英治
ワイヤレス計算機ネットワーク構築技術と生命のシステム的理解に関する研究	教授 松野 浩嗣	
高次脳機能の理論的研究、生体の運動やスキルに関する情報論的研究	教授 西井 淳	
人間や生体の視覚機能, 及び情報処理機能に学んだ知的画像処理に関する研究	教授 末竹 規哲	
computational study of gene regulatory networks	助教 Adrien Fauré	
誤り訂正符号に関する研究	助教 野崎 隆之	
コンピュータを用いた巨大分子の分子設計・材料設計	教授 山本 隆	
情報処理アルゴリズムの統計力学による解析	准教授 川村 正樹	
コンピュータシミュレーションによるソフトマターの秩序構造形成メカニズムに関する研究	准教授 浦上 直人	

(博士後期課程)

自然科学系専攻[Division of Natural Science]

コース	研究内容	教員名
自然科学	光励起や電子移動等を用いる新規有機化学反応の開発・制御および機能性材料への応用に関する研究	教授 石黒 勝也
	新規有機合成化学反応の開発・複素環合成	准教授 藤井 寛之
	分子集合体・分子性結晶の構造と物性に関する研究	准教授 綱島 亮
	有機化合物を中心とした光機能物質の研究	教授 川俣 純
	分子の立体構造と電子状態に関する研究	准教授 谷 誠治
	低次元化合物を用いた機能性材料の開発	准教授 鈴木 康孝
	新規なエネルギー変換機構のための表面・界面の創製とその機構解明・制御法に関する研究	教授 本多 謙介
	機能性炭素材料の創製とその応用に関する研究	助教 檜木野 宏
	光機能性無機材料の物性および反応性の研究	教授 山崎 鈴子
	バルク・界面・表面における分子集合体に関する研究	准教授 安達 健太
	水溶液から無機・有機媒体への物質移動現象の機構解明と物質の分離・分析のための応用	准教授 村上 良子
	分子認識能を有する高分子を用いた分析に関する研究	准教授 藤原 勇
	典型元素と非交互共役系の電子特性を活かした有機分子の研究	教授 村藤 俊宏
	高効率な有機合成を指向した新規分子変換法の開発	准教授 上條 真
	火成岩及び火成岩体の形成機構の解析とマグマ溜りプロセスの研究	教授 今岡 照喜
	地球・惑星構成鉱物の産状, 物理化学的性質, 結晶構造, 成因に関する研究	准教授 永嶌 真理子
	新生代浅熱水性鉱床の形成メカニズムに関する研究	准教授 澤井 長雄
	合成鉱物および天然鉱物の解析に基づいた鉱物の成長と分解における特徴, 素過程の研究	准教授 阿部 利弥
	大陸地殻の形成に関する地殻-マントル相互作用の役割	教授 大和田 正明
	変成岩岩石学・火成岩岩石学・年代学に基づく地殻成因論	教授 志村 俊昭
地殻の古地温, 古応力, 地質構造に関する研究	教授 坂口 有人	
互層の堆積リズムと堆積シーケンスの時系列解析	教授 宮田 雄一郎	
造山運動論を中心とした付加-衝突テクトニクス	教授 脇田 浩二	
海洋地質学と現代におけるジオハザードの諸問題	准教授 川村 喜一郎	
地形解析と水-岩石反応に基づく地形、地盤・地下水環境変化に関する研究	准教授 太田 岳洋	
島弧・大陸地殻の変形とプレートテクトニクス	講師 大橋 聖和	

(博士後期課程)

システム・デザイン工学系専攻[Division of Systems and Design Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
電 子 情 報 シ ス テ ム 工 学 コ ー ス	不規則外乱を受ける集中・分布システムに対する数理解析	教 授 石川 昌明
	人工知能や統計等の情報解析手法を用いた社会システムおよび生命システムに関する研究	教 授 石野 洋子 (技術経営研究科)
	生物の学習・適応等の情報処理の解析とその知的計算モデル構築に関する研究	教 授 大林 正直
	マイクロ波・ミリ波導波型デバイス及びメタマテリアルに関する研究	教 授 久保 洋
	コンピュータグラフィックスによる画像生成およびその応用システム開発に関する研究	教 授 多田村 克己
	知的制御の理論とその応用に関する研究	教 授 田中 幹也
	パワーラインコンディショナ, LED 用高効率電力変換システム, 大規模防災対応ユビキタス電源へのパワーエレクトロニクス応用などの電力変換システムとその応用に関する研究	教 授 田中 俊彦
	有限要素法による電磁界解析とその応用に関する研究	教 授 羽野 光夫
	実用化を目指した統計的パターン認識に関する研究	教 授 浜本 義彦
	代数的符号系列の設計と情報通信への応用に関する研究	教 授 松藤 信哉
	オートマトンと言語理論に関する研究及びアルゴリズムとデータ構造に関する研究	准教授 伊藤 暁
	オートマトンと言語理論に関する研究及びアルゴリズムとデータ構造に関する研究	准教授 王 躍 (メディア基盤センター)
	人間の視覚特性の理解とその映像表現技術への応用に関する研究	准教授 長 篤志
	社会基盤施設の検査, 診断及びライフサイクルマネジメントシステムに関する研究	准教授 河村 圭
	情報メディアコンテンツのデザイン技法に関連するデザイン心理、デザイン教育に関する研究	准教授 木下 武志
	不規則外乱を受ける集中・分布システムに対する数理解析及び画像・音声に対する統計解析	准教授 佐伯 徹郎
	不規則外乱を受ける集中・分布システムに対する数理解析及び画像・音声に対する統計解析	准教授 杉井 学 (国際総合科学部)
	ビジネス情報分析のための人工知能研究	准教授 高橋 雅和 (技術経営研究科)
	防災教育及び防災情報システムに関する研究	准教授 瀧本 浩一
	聴覚情報処理に基づく音情報システムに関する研究	准教授 爲末 隆弘 (メディア基盤センター)
ソフトウェアの定量化と高信頼化に関する研究	准教授 田村 慶信	
センシングシステムの構築と信号処理及びその応用に関する研究	准教授 西藤 聖二	
高信頼並列分散システムおよびネットワークに関する研究	准教授 福士 将	
パターン認識及び画像処理の基礎と応用に関する教育と研究	准教授 藤田 悠介	
高効率無線電力伝送システムの開発、並びに媒質内における電磁界解析とその光・マイクロ波デバイスへの応用に関する研究	准教授 堀田 昌志	
無線通信方式とそれにおけるデジタル信号処理及びそのハードウェア実現に関する研究	准教授 松元 隆博	
パターン認識や空間把握といった画像処理技術、コンピュータグラフィック技術、および、それらの融合技術による拡張現実感に関する研究	准教授 水上 嘉樹	
多重解像度解析の基礎理論に基づく画像応用, 形状解析およびコンピュータビジョンに関する研究	准教授 守田 了	

(博士後期課程)

システム・デザイン工学系専攻[Division of Systems and Design Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
電子情報システム工学コース	ソフトウェア工学やシステム工学、特に形式手法、サービス情報学、情報セキュリティなどに関する教育研究	准教授 山口 真悟
	数値的最適化による制御系設計の理論とその応用に関する研究	准教授 若佐 裕治
	知的制御の理論とその応用に関する研究	講 師 中島 翔太
	パワーラインコンディショナ, LED 用高効率電力変換システム, 大規模防災対応ユビキタス電源へのパワーエレクトロニクスの応用などの電力変換システムとその応用に関する研究	講 師 山田 洋明
メカノシステムデザインコース	計測および高速高精度状態推定法の研究, 非線形計測制御手法の研究	教 授 小河原 加久治
	機械システムを構想しイノベーション創出に繋げるための研究, 特に事業評価から発想支援・最適設計に至る, 一連の理論と方法論	教 授 上西 研 (技術経営研究科)
	センサ・アクチュエータの構造と機能を力学的に研究し様々な分野に応用するスマートメカトロニクスシステムの設計・開発に関する研究	教 授 江 鐘偉
	繊維強化型複合材料の力学的性質の解明と強度信頼性評価	教 授 合田 公一
	解析主導型設計による最適設計手法に関する研究	教 授 春山 繁之 (技術経営研究科)
	人工衛星からのリモートセンシング技術、処理アルゴリズム、および地球環境監視への応用に関する研究	准教授 今岡 啓治 (メディア基盤センター)
	機械システムを構想しイノベーション創出に繋げるための研究, 特に事業評価から発想支援・最適設計に至る, 一連の理論と方法論	准教授 古賀 毅
	胎児, 小児, 成体, 高齢までのこころの健やかな生涯発達を支援する精神生物学的検証に基づく包括環境見守り・育み技術開発研究	准教授 小柴 満美子
	グリーンコンポジットの成形技術の開発とその強度発現メカニズムの解明	准教授 野田 淳二
	人間・機械システムに関する諸問題, システムインテグレーションと制御系設計論に関する研究	准教授 藤井 文武

(博士後期課程)

環境共生系専攻[Division of Environmental Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
エ ネ ル ギ ー ・ 環 境 シ ス テ ム コ ー ス	計算水理学の研究とその防災および環境問題への応用	教 授 朝位 孝二
	高効率排水・廃棄物処理プロセスの開発及びそれらからの資源回収システムの開発	教 授 今井 剛
	無機マイクロ粒子体表面からの熱物質移動現象の特性解明と数値解析に関する研究	教 授 加藤 泰生
	複雑流体のレオロジー特性と用途開発およびそれを扱う装置の設計に関する研究	教 授 佐伯 隆
	人間活動が水域生態系に与える影響の評価手法の開発および微量有害物質の挙動解析	教 授 関根 雅彦
	膜濾過法による浄水処理プロセスの開発と応用、および新型遠心セルによる遠心限外濾過機構の解明とプロセス設計法	教 授 中倉 英雄
	社会基盤を対象とした情報システムの構築に関する研究	教 授 中村 秀明
	土壌・地下水汚染の浄化, 産業廃棄物等 2次資源, 未利用資源の有効利用に関する研究	教 授 新苗 正和
	混相動作媒体の熱的性質と輸送特性, 気体および固体における熱及び物質移動と燃焼反応に関する研究	教 授 西村 龍夫
	自然界の流れや水およびその環境やエネルギー問題への活用に関する研究	教 授 羽田野 袈裟義
	内燃機関の燃焼・排気特性解析, 噴霧・液滴群・マイクロ燃焼に関する研究	教 授 三上 真人
	流体計測法の開発及び粗面境界層における乱流構造の組織構造に関する研究	教 授 望月 信介
	河川・流域における水・物質循環と生態系に関する研究	准教授 赤松 良久
	微生物燃料電池によるグリーンエネルギーに関する研究	准教授 Md. Azizul Moqsud
	化学プロセスにおける拡散・平衡現象および省エネルギーに関する研究	准教授 小渕 茂寿
	宇宙船の大気圏突入技術と加熱環境, ビームや電磁気を推進力とするロケット・宇宙推進器などの先端宇宙輸送・推進工学に関する研究	准教授 葛山 浩
	膜やナノ材料の開発, 及びエネルギー・環境用途への応用に関する研究	准教授 熊切 泉
	社会基盤整備における参加型意思決定に関する研究	准教授 榊原 弘之
	態度・行動分析を基盤とした都市・地域計画に関する教育と研究	准教授 鈴木 春菜
	内燃機関の燃焼特性解析, プラズマを用いた点火, 液体燃料の微粒化および噴霧燃焼に関する研究	准教授 瀬尾 健彦
膜および膜プロセスの基礎とエネルギー・環境問題への応用に関する研究	准教授 田中 一宏	
熱CVD法による薄膜生成, 燃焼反応による微粒子生成, 木質バイオマスからの燃料生成に関する研究	准教授 田之上 健一郎	
生体触媒による物質変換を利用した廃棄物・未利用資源の有効利用に関する研究	准教授 通阪 栄一	
大気中有害物質や臭気の測定・評価および制御に関する研究	准教授 樋口 隆哉	
河口・沿岸域における土砂動態および泥炭地における物質循環に関する研究	准教授 山本 浩一	
土壌・地下水汚染の浄化, 産業廃棄物等 2次資源, 未利用資源の有効利用に関する研究	講 師 鈴木 祐麻	
社 会 基 盤 環 境 コ ー ス	耐候性鋼橋梁を中心とした鋼橋の腐食と維持管理に関する研究	教 授 麻生 稔彦
	景観評価システムの構築と都市計画制度における景観施策の展開手法に関する研究	教 授 鳩 心治
	建築物の構造性能, 耐震性能の評価に関する研究および合理的な建築構造システムの開発	教 授 稲井 栄一
	自然エネルギーの利用技術開発, ビル・住宅の省エネルギー技術開発, 環境建築を実現する最適化設計手法の開発	教 授 小金井 真
	岩盤構造物の合理的な設計・建設・維持管理手法に関する教育と研究	教 授 清水 則一

(博士後期課程)

環境共生系専攻[Division of Environmental Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
社会基盤環境コース	地下構造物のより合理的な設計理論および施工・維持管理に関する教育と研究	教 授 進士 正人
	基礎地盤ならびに土構造物の耐震設計に関わる地震動, 地盤の動的性質, 安定解析法	教 授 鈴木 素之
	都市における住宅需要・供給システムの解析と住宅政策評価に関する研究	教 授 中園 真人
	土質材料の微視的力学特性と土構造物の安定性に関する研究	教 授 中田 幸男
	建築物の熱環境シミュレーション、伝熱に関する数値解析手法の開発	教 授 福代 和宏 (技術経営研究科)
	環境負荷削減のための建築鋼構造に関する研究およびハイブリッド構造システムの開発	教 授 藤田 正則
	静的及び動的载荷を受ける地盤の長期・短期安定性に関する研究	教 授 松田 博
	未利用資源のコンクリート材料としての利用に関する研究弾性波を利用した構造物の非破壊検査に関する研究	准教授 高海 克彦
	地震時の人的被害・住宅被害予測及び防災対策の最適化に関する研究	准教授 村上 ひとみ
	建築材料の性能評価・解析的予測法および環境配慮型選択・設計法の研究開発	准教授 李 柱国
	セメント系材料・複合材料を用いた合成構造の力学特性に関する研究	准教授 吉武 勇
	地盤工学における資源および技術の開発に関する研究	准教授 吉本 憲正
	橋梁構造物の耐震設計の高度化および構造物の維持管理に関する研究	准教授 渡邊 学歩
	建築物の構造性能, 耐震性能の評価に関する研究および合理的な建築構造システムの開発	講 師 秋田 知芳
	都市における住宅需要・供給システムの解析と住宅政策評価に関する研究	講 師 孔 相権

(博士後期課程)

物質工学系専攻[Division of Materials Science and Engineering]

コース	研 究 内 容	教 員 名
応用物理系コース	イオン性プラズマの基礎物性と応用	教 授 大原 渡
	新しい高効率熱電変換材料の開発研究	教 授 小柳 剛
	固体材料の性質の理論的およびコンピュータ・シミュレーションによる研究	教 授 嶋村 修二
	III族窒化物半導体を使った光半導体デバイスのエピタキシャル成長技術およびデバイス作製技術に関する研究	教 授 只友 一行
	プラズマ・核融合分野のコンピュータ・シミュレーション	教 授 内藤 裕志
	半導体低次元量子構造における高密度励起子系の光物性に関する研究	教 授 山田 陽一
	磁性材料, 磁気デバイス, 高密度情報記録技術	教 授 山本 節夫
	化合物半導体を使った量子デバイスの設計, 実装, 評価技術とそのアプリケーションに関する研究	教 授 横川 俊哉
	電子構造計算手法を用いた熱電変換材料などの材料物性の理論的研究	准教授 赤井 光治 (国際総合科学部)
	スピントロニクス材料およびそのデバイス応用, マイクロマグネティクスの研究	准教授 浅田 裕法
	非晶質半導体新材料の作成とその光学的性質の研究	准教授 荻原 千聡
	光・放射線損傷欠陥の物質および有機/無機複合結晶の形成に関する研究	准教授 甲斐 綾子
	真空の科学と工学. 低ガス放出な真空材料の探索とそれを用いた先端デバイス製造用真空装置の開発に関する研究.	准教授 栗巢 普揮
	熱プラズマ源の開発とその材料プロセスへの応用	准教授 崎山 智司
	第一原理分子動力学シミュレーションによる物性研究	准教授 仙田 康浩
超伝導体への人工的な磁束ピン止め点の導入と制御に関する研究	准教授 原田 直幸	
応用化学系コース	有機エレクトロニクスデバイスの適用できる新規有機材料の合成と応用に関する研究	教 授 鬼村 謙二郎
	蛍光材料など有機光機能材料の開発と物性に関する研究	教 授 笠谷 和男
	機能性単結晶の育成と評価及びデバイスへの応用	教 授 小松 隆一
	新規高機能性触媒の開発とその触媒作用の解明	教 授 酒多 喜久
	エネルギー・環境応用のための電極材料設計に関する研究	教 授 中山 雅晴
	高選択透過性分離膜, 機能性高分子ゲルの開発と応用に関する研究	教 授 比嘉 充
	計算化学的および情報化学的手法を用いた合成経路開発	教 授 堀 憲次
	電池や電解合成など, 電気化学過程を利用したデバイスやプロセスに関する研究	教 授 森田 昌行
	電気化学過程を利用した機能性材料の設計・開発に関する研究	教 授 吉本 信子
	有機ゲル化剤や液晶材料などの有機機能性材料の合成と応用に関する研究	准教授 岡本 浩明
	計算化学を用いた化学反応設計と新規機能性材料の開発に関する研究	准教授 隅本 倫徳
	無機結晶材料の精密構造解析と結晶化学	准教授 中塚 晃彦
	機能性電解質溶液・ゲルの熱力学および構造化学と環境調和型材料への展開研究	准教授 藤井 健太
	高機能セラミックスの合成とスペクトロスコピー	准教授 藤森 宏高
	不斉反応の新方法論の開発と光学活性化合物の合成に関する研究	准教授 山本 豪紀
燃料電池や電解合成などの電気化学反応プロセスに関する研究	講 師 遠藤 宣隆	

(博士後期課程)
ライフサイエンス系専攻[Division of Life Science]

系別	コース	研 究 内 容	教 員 名
工 学 系	応用 医 工 学 コ ー ス	医用画像情報を用いたコンピュータ支援診断・治療に関する研究	教 授 木戸 尚治
		機械システムの運動と振動の制御に関する研究	教 授 齊藤 俊
		非線形有限要素法, 生体力学シミュレーション及び医療への応用に関する研究	教 授 陳 献
		微小な世界の物理現象や生体の微細構造・機能に着目して, 生体に適した微小機械の設計・試作, 試作に必要な微細加工技術の開発, および微小機械による生体や細胞の特性の解明・操作, 医療への応用などに関する研究	教 授 南 和幸
		医療機器・福祉機器のインタフェース設計と評価に関する研究	教 授 森川 治
		生体材料・組織の力学的評価と生体力学シミュレーションに関する研究	准教授 大木 順司
		医用画像を用いたコンピュータ支援診断, 人体内部構造の解析, シミュレーション, および多元的な医療情報に基づく医用情報アプリケーションの開発などに関する研究	准教授 平野 靖
		超音波やX線を利用した関節軟骨性状をはじめとする関節疾患の定量評価法の開発や, 数値計算を利用したカテーテルなどの柔軟な医療器具に関する変形・接触挙動のシミュレーションに関する研究	准教授 森 浩二
	応用 分 子 生 命 科 学 コ ー ス	<ul style="list-style-type: none"> ・酵母の遺伝子操作法の開発 ・酵母を利用した疾患関連遺伝子の機能解析 ・酵母と培養細胞を利用した有用タンパク質生産 ・培養細胞における遺伝子操作法の開発と応用 	教 授 赤田 倫治
		<ul style="list-style-type: none"> ・生理活性物質の合成に必要な効率的な有機合成を目指した、立体選択的ドミノ反応の開発 ・生理活性を有する含窒素複素の構造活性相関の検討 ・グリーン科学を施行した反応剤の開発やそれを用いた高効率なプラスチックやバイオマスの科学的資源リサイクル法の開発 	教 授 上村 明男
		<ul style="list-style-type: none"> ・新規機能高分子材料の合成とその医療材料、電子材料等への応用展開 ・電界紡糸法によるナノファイバーの調製とその応用に関する研究 ・極細金属あるいは金属化合物中空繊維の調製とその応用に関する研究 ・新規な薬物送達システム用材料の開発 ・高イオン伝導性等の特徴を有するポリマー電解質の合成とその電池用材料への応用 	教 授 堤 宏守
		<ul style="list-style-type: none"> ・バイオクロマトグラフィーにおける生体認識と移動現象およびスケールアップスケールダウンの手法開発 ・乾燥による食品およびバイオプロダクトの安定化 	教 授 山本 修一
		遷移金属触媒を用いる新しい有機合成法の開発	准教授 西形 孝司
		<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱性酵母によるバイオエタノール生産 ・酵母を利用した疾患関連遺伝子の機能解析 ・酵母を利用したタンパク質発現機構の解析 ・培養細胞を利用した遺伝子解析 	准教授 星田 尚司
理 学 系	応用 分 子 生 命 科 学 コ ー ス	哺乳類の生物時計メカニズムに関する研究	教 授 明石 真 (時間学研究所)
		動物の受精における多精拒否の分子機構の研究	教 授 岩尾 康宏
		酵母を用いたミトコンドリアの維持機構および形態調節機構に関する研究	教 授 宮川 勇
		シヨウジョウバエの発生遺伝学的研究	教 授 村上 柳太郎
		細胞分裂・運動などに関与する分子機械の構築とその制御機構に関する研究	教 授 祐村 恵彦
		昆虫類の環境適応機構に関する研究	教 授 山中 明
		細胞運動に関する生物物理学的研究	准教授 岩楯 好昭
		ツメガエル初期胚の細胞周期とオルガネラ形成の研究	准教授 上野 秀一
		繊毛機能に関する分子生物学的研究	准教授 堀 学
		微細藻類の環境応答・代謝に関する研究	准教授 三角 修己
		植物の環境応答・シグナル伝達機構の研究	准教授 武宮 淳史

* ライフサイエンス系専攻は、3学系複合のため、学系で担当教員の所属を示す。

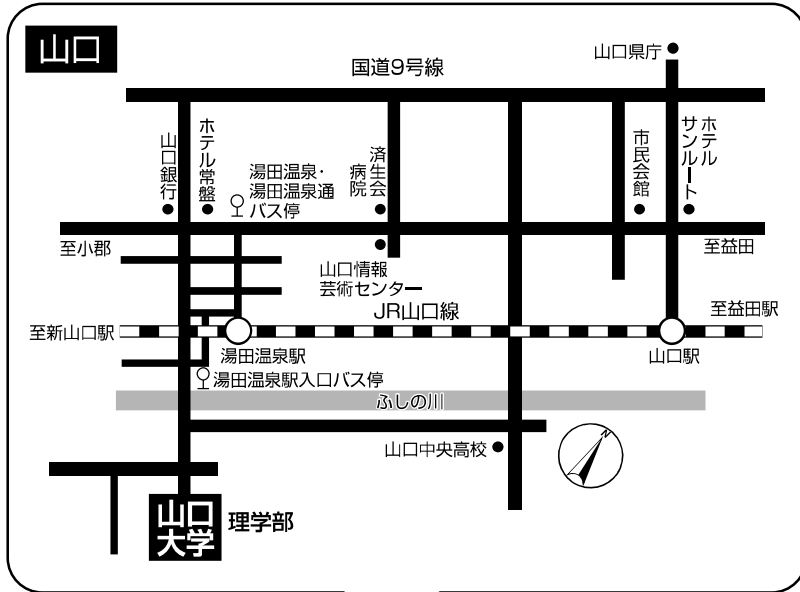
(博士後期課程)

ライフサイエンス系専攻[Division of Life Science]

系別	コース	研 究 内 容	教 員 名
農 学 系	応用 分子 生命 科学 コース	タンパク質翻訳後修飾の解析とその応用 無細胞タンパク質合成系を用いたタンパク質の機能解析とその応用	教 授 内海 俊彦
		哺乳類神経筋システムの適応メカニズムに関する生理・生化学的研究 神経筋の加齢変化抑制のための運動刺激に関する研究	教 授 宮田 浩文
		微生物におけるストレス対応戦略および長期生存機構の解明 有用物質生産を目指したバイオインフォマティクスに基づいた代謝工学的研究	教 授 山田 守
		微生物の代謝と酵素に関する研究 細胞膜で働く酵素複合体に関する研究	准教授 薬師 寿治
	農 学 生 命 科 学 コ ー ス	生理活性物質の創薬への応用に関する研究 香りの機能性の応用に関する研究	教 授 赤壁 善彦
		活性中心の構造と反応機構に基づく新機能性酵素の分子設計 金属含有タンパク質の機能-構造相関についての研究	教 授 小崎 紳一
		ゲノム情報を応用した昆虫利用・管理技術開発に関する研究 昆虫機能を応用した物質生産に関する研究	教 授 小林 淳
		植物工場における野菜の高効率生産と高付加価値化 地球温暖化に対応した新しい野菜品種の開発	教 授 執行 正義
		植物が代謝によって獲得する生理生態学的環境適応戦略の解明 作物が作り出す機能性物質の代謝経路の解明とその応用研究	教 授 松井 健二
		活性酸素が関与する老化メカニズムの解明とアンチエイジング (抗老化) 長寿命昆虫の生存戦略	准教授 井内 良仁
		植物プラスチドにおける同化系代謝間制御の解析 フェレドキシンとその依存タンパク質間の相互作用と電子伝達メカニズムの解析	准教授 木股 洋子
		農畜産物の流通・加工・消費に関する研究 食品産業・企業経営に関する研究	准教授 種市 豊
		環境浄化および物質生産に活用可能な微生物の探索 物質循環 (特に炭素循環) に関わる微生物の生態解明	准教授 藤井 克彦

*ライフサイエンス系専攻は、3学系複合のため、学系で担当教員の所属を示す。

交通のご案内 ACCESS MAP

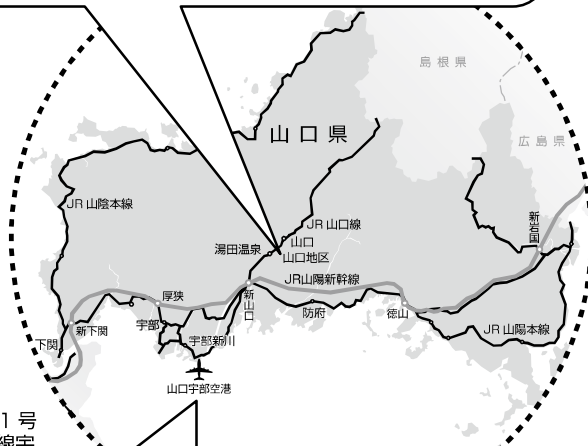


山口地区

理学部

吉田キャンパス/
山口市吉田 1677-1

- JR 山陽本線新山口駅から JR 山口線「湯田温泉駅」下車。
JR 湯田温泉駅入口バス停から JR バス山口大学行「山口大学」下車。
- JR 新山口駅発 JR バス「東萩」行「湯田温泉通」下車、又は防長バス「道の駅仁保の郷」行、「県庁前」行、「宮野温泉」行、又は「スポーツの森」行「湯田温泉」下車。JR バス「山口大学」行に乗り換え「山口大学」下車、又は防長バス「新山口駅」行（権現堂橋経由）又は「リハビリ病院」行に乗り換え「山口大学前」下車。（徒歩の場合、湯田温泉バス停から約 35 分、JR 湯田温泉駅から約 25 分）
- JR 新山口駅から車で約 30 分



宇部地区

工学部

常盤キャンパス/

- 宇部市常盤台 2 丁目16番 1 号
- JR 新山口駅又は JR 山陽本線宇部駅から JR 宇部線「宇部新川駅」又は「琴芝駅」下車。
駅前バス停から開線・ひらき台方面（琴芝経由又は参宮通経由）、めぐりーな（東部市内循環線）又は萩原循環線の市営バス「工学部前」下車。徒歩約 3 分。
※めぐりーな（東部市内循環線）は琴芝駅を経由しないので注意してください。
 - 山口宇部空港から車で約10分。

